

「理論物理学」で 野球の動作学ぶ

井波で講習会

南砺

野球の投球や打撃の動作を「スポーツ理論物理学」の視点から分析し、適切な体の使い方を



選手を指導する坂井教授（右から2人目）

学ぶ講習会が7日、南砺市北川（井波）の井波八乙女体育館であり、市内の野球クラブ「南砺ベースボールクラブ」のメンバーら約30人が講義や実技を通して理解を深めた。

砺波地区の球児の技術向上を図ろうと、とнами野野

市内中学野球部員

アスリートに学ぶ

伏木海陸選手が先生

砺波

伏木海陸運送硬式野球部による野球教室が7日、砺波市出町中学校体育館で開かれ、市内4

中学校の野球部員30人が技術を学んだ。

アスリートから技術を習

球研究会が企画。野球やソフトボールの動作を研究している山口大の坂井伸之教授を講師に招いた。

坂井教授は物理法則に基づく投球、打撃の仕組みを座学で指導。その後、選手の写真撮影し、アドバイスを送った。

得てもらおうと、同市野球連盟（河合晃充会長）が企画。伏木海陸からは同市庄西中学校出身の田中翔監督や選手合わせて25人が参加し、ほぼマンツーマンで指導に当たった。

ウォーミングアップや冬期の体力向上トレーニングに取り組んだ後、ポジション別に基礎練習をした。捕